



伝統行事と地域のつながり

木崎地区赤堀町

赤堀獅子舞



伝統行事を継承する事によって



地域がつながる



人と人がつながる



貴重な文化を守る



村おこしetc

令和5年10月15日(日)、新田赤堀町で、元禄元年から続く太田市の重要無形民俗文化財に指定されている「赤堀獅子舞」の奉納が開催されました。

コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となりましたが、赤堀獅子舞保存会の皆さんと木崎小学校の5・6年生の男子が躍動感あふれる舞を披露しました。

残念ながら雨のため、獅子舞は赤堀会館で行われ、本殿の前で舞う予定だった「海老掬い(えびすくい)」は中止となりましたが、この伝統行事の継承により、地域や人とのつながりがさらに強くなったと感じます。

赤堀地区は個性豊かで活力ある地域になる！！

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

地域とつながる皆様のご紹介



会長 岡部勇さん

司会をされた岡部会長からは、「15日（日）はあいにくの雨でしたが、4年ぶりにこの伝統行事が開催できて良かった」と伺いました。



赤堀獅子舞保存会の皆さん

保存会の皆さんの高齢化により、獅子舞は獅子頭を飾るだけの案が出ましたが、保存会の努力により現在も開催されています。



赤堀八幡宮に飾られた万灯

竹ひごを芯とした花枝に和紙で折った花を飾った万灯（まんとう）。花は地域の皆で飾り付けました。



獅子頭を被り舞いました



小学5年生の皆さん



横笛を演奏した皆さん

左から
雄獅子を演じた設楽君（小6）雄獅子を演じた篠崎君（小5）
法眼を演じた青山君（小6）雌獅子を演じた滝本君（小5）
雌獅子を演じた河村君（小5）法眼を演じた村岡君（小5）

左から
保存会の皆さんと小学
5、6年生の女子が横
笛と唄を担当します。演
奏により獅子舞がより
盛り上がりました。

「赤堀獅子舞」は赤堀地区の大切な“お宝”です。



「法眼（ほうがん）」の獅子頭を被り演じた青山君は、「雌獅子（めじし）」を演じた大川春美さんのお孫さん。「雌獅子」を演じた河村君は、同じく「雌獅子」を演じた河村大輔さんと親子です。

親、子、孫の3世代が参加し、赤堀獅子舞を演じた結果、笑顔いっぱいの集合写真が撮影され、世代間交流も深まり、大成功を収めました！！

地域福祉係のInstagram(インスタグラム)を開設しました！市内の地域福祉の推進をするため、各種事業の情報や地域のお宝について発信しています。フォローやいいね！など、是非よろしくお願いします！



お問い合わせ
太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229